nikko am
Nikko Asset Management

新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）

追加型投信／海外／その他資産

交付運用報告書

第５期（決算日2017年６月20日）　第６期（決算日2017年７月20日）　第７期（決算日2017年８月21日）
第８期（決算日2017年９月20日）　第９期（決算日2017年10月20日）　第10期（決算日2017年11月20日）

作成対象期間（2017年５月23日～2017年11月20日）

第10期末（2017年11月20日）	
基準価額	9,117円
純資産総額	28,729百万円
第５期～第10期	
騰落率	△ 0.4%
分配金（税込み）合計	300円

（注）騰落率は分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書（全体版）に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

＜運用報告書（全体版）の閲覧・ダウンロード方法＞
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書（全体版）は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「新・ミューズニッチ米国ＢＤＣファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）」は、2017年11月20日に第10期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なってまいりました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社
東京都港区赤坂九丁目７番１号
http://www.nikkoam.com/

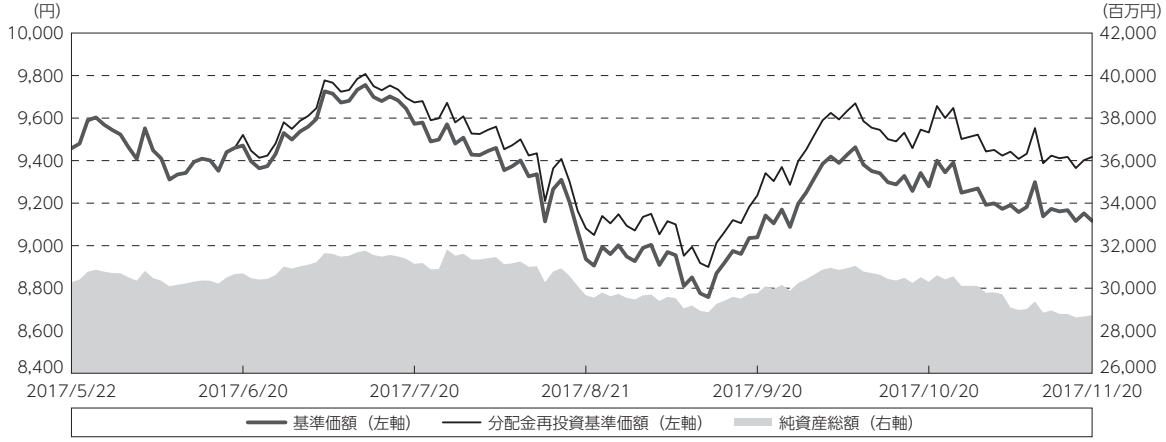
当運用報告書に関するお問い合わせ先
コールセンター　電話番号：0120－25－1404
午前９時～午後５時　土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

（2017年5月23日～2017年11月20日）



第５期首：　9,458円
第10期末：　9,117円（既払分配金（税込み）：300円）
騰　落　率：△　0.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）分配金再投資基準価額は、作成期首（2017年５月22日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

＜値上がり要因＞

・投資先ＢＤＣから配当収入を得たこと。
・円安／アメリカドル高が進行したこと。

＜値下がり要因＞

・ＢＤＣ市場が下落したこと。

１万口当たりの費用明細

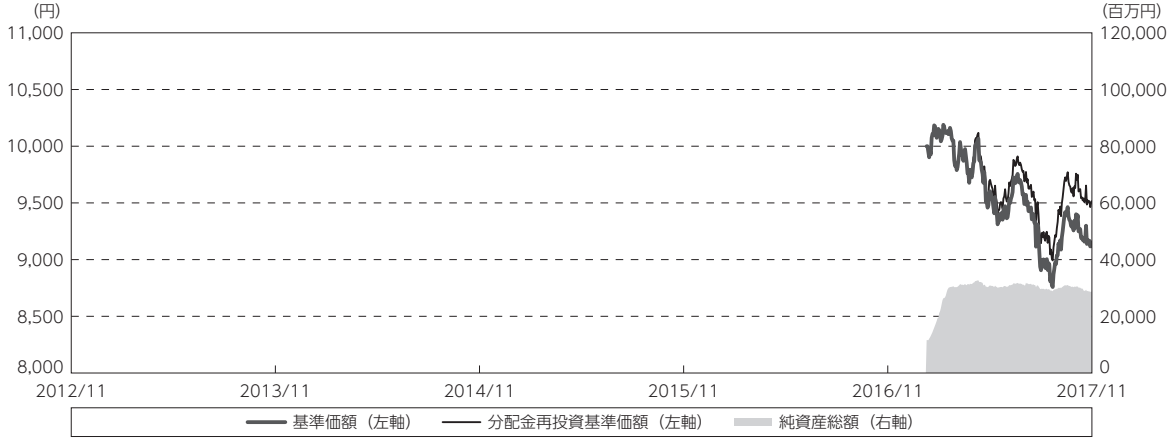
（2017年5月23日～2017年11月20日）

項目	第５期～第10期 金額	第５期～第10期 比率	項目の概要
	円	%	
(a) 信託報酬	93	0.996	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(53)	(0.565)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(38)	(0.404)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(3)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	2	0.020	(b) 売買委託手数料＝作成期間の売買委託手数料÷作成期間の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(2)	(0.020)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝作成期間の有価証券取引税÷作成期間の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	2	0.019	(d) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用）	(1)	(0.008)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
合計	97	1.035	
作成期間の平均基準価額は、9,327円です。			

（注）作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
（注）各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
（注）売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
（注）各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

最近５年間の基準価額等の推移

（2012年11月20日～2017年11月20日）



（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
（注）当ファンドの設定日は2017年２月３日です。

	2017年２月３日 設定日	2017年11月20日 決算日
基準価額　(円)	10,000	9,117
期間分配金合計(税込み)　(円)	－	400
分配金再投資基準価額騰落率　(%)	－	△　4.8
純資産総額　(百万円)	11,612	28,729

（注）上記騰落率は、小数点以下第２位を四捨五入して表示しております。
（注）純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
（注）設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しており、2017年11月20日の騰落率は設定当初との比較です。
（注）当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

（2017年5月23日～2017年11月20日）

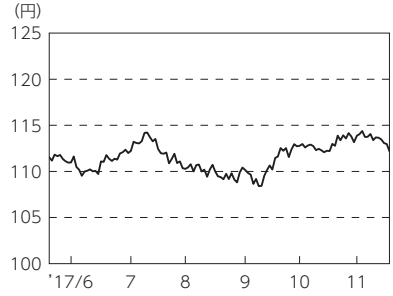
（ＢＤＣ市況）

ＢＤＣ市場は下落しました。マクロ面で目立ったマイナス材料が生じなかったなか、米国大型株式はテクノロジー銘柄主導で上昇しましたが、対照的にＢＤＣ市場は冴えない値動きとなりました。グロース株選好の動きが強まり、ＢＤＣのような高配当期待で買われる資産への投資意欲が低下しました。加えて、一部のＢＤＣが2017年４－６月期の決算発表に合わせて減配を発表したことから、ＢＤＣ市場は2017年８月に大きく下落しました。９月には反発し８月の下げを幾分取り戻したものの、10月は７－９月期の決算発表への警戒感から調整しました。11月には決算発表で大型銘柄の減配が見られなかったことが安心感を誘い、期間末にかけてＢＤＣ市場は下げ幅を縮小しました。当期間は、優良銘柄と不振銘柄のパフォーマンス格差が大きくなりました。

（為替市況）

期間中における円／アメリカドル相場は、右記の推移となりました。

円／アメリカドルの推移



当ファンドのポートフォリオ

（2017年5月23日～2017年11月20日）

（当ファンド）

当ファンドは、収益性を追求するため、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。

（ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

個別ＢＤＣの経営および資産の質、配当の持続性に着目し、ファンダメンタルズ分析・評価に基づき、アクティブにポートフォリオを運営しました。相対的に質が低く、流動性に乏しい小規模ＢＤＣの一部はすべて売却し、組入銘柄を絞り込みました。また、先行きの見通しについての確信度合の低い銘柄の組入比率を引き下げ、より大型の優良銘柄に重点を置いたポートフォリオ構成としました。キャッシュ代替資産として保有するバンクローンＥＴＦの組入比率を引き下げ、ＢＤＣの組入比率を引き上げました。

当ファンドのベンチマークとの差異

（2017年5月23日～2017年11月20日）

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

（2017年5月23日～2017年11月20日）

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

（単位：円、１万口当たり、税込み）

項　　目	第５期 2017年５月23日～ 2017年６月20日	第６期 2017年６月21日～ 2017年７月20日	第７期 2017年７月21日～ 2017年８月21日	第８期 2017年８月22日～ 2017年９月20日	第９期 2017年９月21日～ 2017年10月20日	第10期 2017年10月21日～ 2017年11月20日
当期分配金 （対基準価額比率）	50 0.525%	50 0.520%	50 0.556%	50 0.550%	50 0.536%	50 0.545%
当期の収益	50	25	4	50	37	－
当期の収益以外	－	24	45	－	12	50
翌期繰越分配対象額	131	107	61	121	108	58

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。

（ハイインカムＢＤＣマザーファンド）

事実上の完全雇用を達成するなど、米国経済は健全な状態を保っています。2017年７－９月期の米国の実質ＧＤＰ（国内総生産）成長率は３％と好調でした。サービスセクターの好調と雇用指標により、景気に対する楽観的な見方が強まっています。米国のミドルマーケット（中堅企業）では、引き続きＳ＆Ｐ構成企業を上回るペースで収益が拡大しています。マクロ景気・企業景況感双方の改善を受けて貸出スプレッドの低下圧力が高まっていますが、当ファンドでは大半のＢＤＣは配当を維持するとみています。

ファンダメンタルズ分析に基づき、長期的に高いパフォーマンスを挙げると期待されるＢＤＣに投資していく方針です。市場で短期的な歪みが生じ、銘柄の評価が妥当な水準から著しく乖離するような機会があれば積極的に利用し、投資パフォーマンスの一段の向上をめざします。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申しあげます。

お知らせ

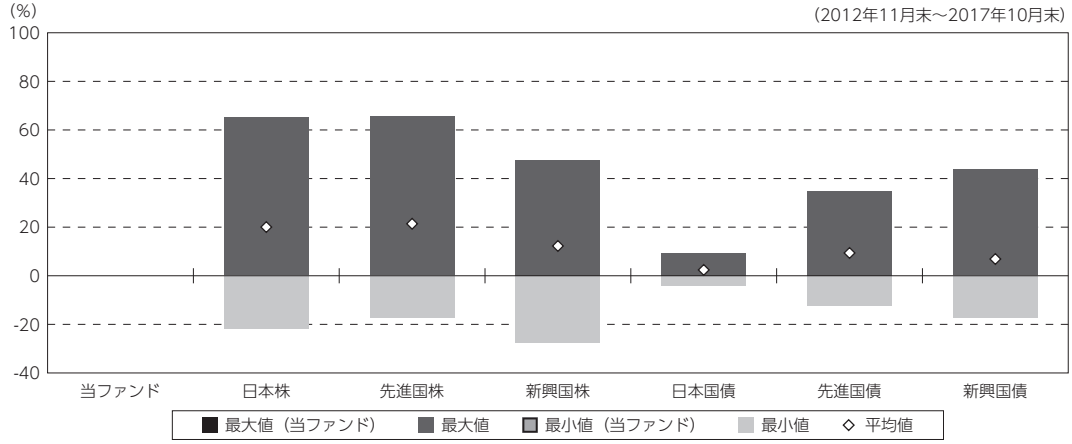
2017年５月23日から2017年11月20日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／その他資産	
信託期間	2017年２月３日から2032年５月20日までです。	
運用方針	主として、「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券に投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	新・ミューズニッチ米国BDCファンド（為替ヘッジなし・毎月分配型）	「ハイインカムＢＤＣマザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ハイインカムBDCマザーファンド	ＢＤＣ（ビジネス・ディベロップメント・カンパニー）を主要投資対象とします。
運用方法	主として、米国の金融商品取引所に上場されているＢＤＣに実質的な投資を行ない、インカム収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。ＢＤＣの組入比率は、高位を維持することを基本とし、ＢＤＣの銘柄選定にあたっては、各銘柄毎の利回り水準、流動性に加えて、ファンダメンタルズや割安性などを勘案して行ないます。外貨建資産への投資にあたっては、原則として為替ヘッジを行ないません。	
分配方針	第１計算期から第２計算期までは収益分配を行ないません。第３計算期以降、毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

（参考情報）

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



（単位：%）

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	－	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	－	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	－	20.0	21.4	12.3	2.4	9.4	6.9

（注）全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
（注）2012年11月から2017年10月の５年間の各月末における直近１年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。なお、当ファンドにつきましては、運用期間が１年未満であるため掲載しておりません。
（注）上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

《各資産クラスの指数》
日 本 株：東証株価指数（TOPIX、配当込）
先進国株：MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）
新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）
日本国債：NOMURA-BPI国債
先進国債：シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）
新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）
（注）海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数（TOPIX、配当込）は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。**●MSCI-KOKUSAIインデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込、円ベース）**は、MSCI Inc.が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。**●NOMURA-BPI国債**は、野村證券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。**●シティ世界国債インデックス（除く日本、円ベース）**は、Citigroup Index LLCが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLCに帰属します。**●JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド（円ヘッジなし、円ベース）**は、J.P. Morgan Securities LLCが算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLCに帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

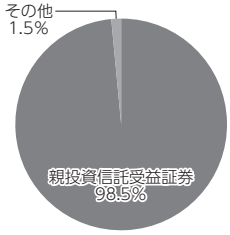
（2017年11月20日現在）

○組入上位ファンド

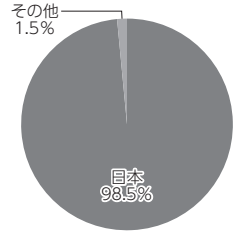
銘　　柄　　名	第10期末
	%
ハイインカムＢＤＣマザーファンド	98.5
組入銘柄数	1銘柄

（注）組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
（注）組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

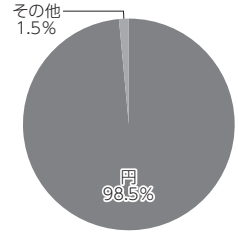
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



（注）比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
（注）国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
（注）その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

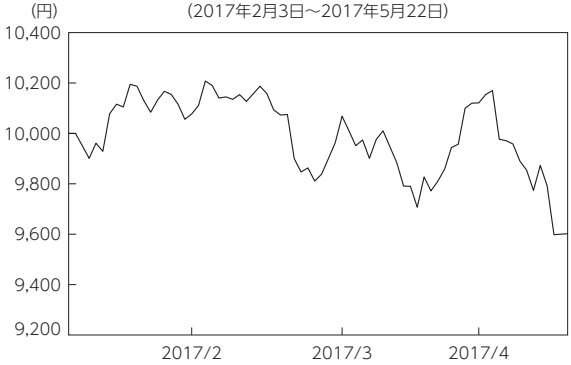
項　　目	第５期末	第６期末	第７期末	第８期末	第９期末	第10期末
	2017年６月20日	2017年７月20日	2017年８月21日	2017年９月20日	2017年10月20日	2017年11月20日
純資産総額	30,697,019,821円	31,143,032,031円	29,667,435,892円	29,761,917,677円	30,301,053,908円	28,729,336,061円
受益権総口数	32,412,985,189口	32,531,745,470口	33,194,351,088口	32,925,623,737口	32,654,250,094口	31,510,144,866口
１万口当たり基準価額	9,471円	9,573円	8,937円	9,039円	9,279円	9,117円

（注）当作成期間（第５期～第10期）中における追加設定元本額は2,230,961,202円、同解約元本額は2,741,896,183円です。

組入上位ファンドの概要

ハイインカムＢＤＣマザーファンド

【基準価額の推移】



【１万口当たりの費用明細】

(2017年2月3日～2017年5月22日)

項目	当期 金額	当期 比率
	円	%
(a) 売買委託手数料	9	0.088
(投資信託証券)	(9)	(0.088)
(b) 有価証券取引税	0	0.000
(投資信託証券)	(0)	(0.000)
(c) その他費用	0	0.001
(保管費用)	(0)	(0.001)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	9	0.089
期中の平均基準価額は、10,088円です。		

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
(注) 各比率は１万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第３位未満は四捨五入してあります。

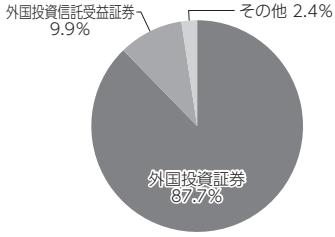
【組入上位10銘柄】

(2017年5月22日現在)

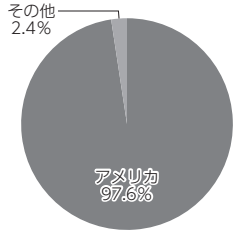
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	ARES CAPITAL CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	18.7
2	POWERSHARES SENIOR LOAN-ETF	投資信託受益証券	アメリカドル	アメリカ	9.9
3	PROSPECT CAPITAL CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.6
4	MAIN STREET CAPITAL CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	7.2
5	FS INVESTMENT CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	6.2
6	APOLLO INVESTMENT CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	4.9
7	HERCULES CAPITAL INC-BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	4.7
8	NEW MOUNTAIN FINANCE CORP -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	4.5
9	GOLUB CAPITAL BDC INC -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	4.0
10	TPG SPECIALTY LENDING INC -BDC	投資証券	アメリカドル	アメリカ	3.9
組入銘柄数		30銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。
(注) 国（地域）につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

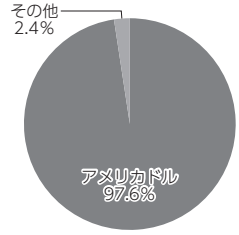
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。
(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。
※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書（全体版）をご参照ください。